

委員長	<p>それでは、只今から平成20年第12回定例県教育委員会会議を開催します。</p> <p>はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。異議なし。
委員長	<p>それでは、この通り決定します。</p> <p>次に、前回会議録の承認を行います。鎌田委員お願いします。</p>
鎌田委員	はい。正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	<p>それでは、この通り決定します。</p> <p>今回会議録署名人は、比嘉委員にお願いします。</p>
比嘉委員	はい。
委員長	次に教育長報告を行います。
教育長	(教育長報告を行う)
東委員	<p>全国学力・学習調査は、2年連続全ての科目最下位という結果は真剣に受けとめなければならない。プロジェクトチームの設置には大いに期待したい。行政、教育現場、父母、地域が一緒になって、まずは脱最下位を目標にしなければならない。基礎的な学力は、生きる力と不可分のものであると思うので、脱最下位を県民全体の運動に押し上げていく必要があると思う。これは、偏差値主義や学歴社会におちいるといったこととは、別の問題だ。</p>
鎌田委員	今回の報告は、全国と本県との比較だったが、県内の市町村のデータ分析は行っているか。
教育長	詳細な分析はこれから進めていきます。ただ、各学校ごとのデータは県教委には来ておりません。
鎌田委員	そうした分析を踏まえて、東委員が仰った県民運動につなげていけばよいと思う。

<p>教育長</p>	<p>今回の最下位も、ある程度予想ができたものでした。昨年は調査結果を受けて11月に検証委員会を立ち上げ、その提言は2月でした。それから3月に支援プラン等を作成し、4月からスタートしました。今回の調査は4月22日実施なので、改善をするいとまがございませんでした。ただ、最後まで粘り強く問題を解きましようという呼びかけを子どもたちにやっております。それで、全国の2倍あった無答率が約1.3倍に縮まりました。すぐには結果は見えてこないかもしれませんが、社会全体で県民運動として取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>中山委員</p>	<p>学力問題は深刻な問題ではあるが、急いで成果をあげるのではなく、じっくりと腰を据えて取り組んだ方がよい。点数を上げるため勉強するのではなく、生涯を通して生きていく力になるような学力をつけるということから取り組んでほしい。例え5年連続最下位であっても、長い目で見て力をつけていくものであればいいのではないか。また、実際に時間がかかるだろうと思う。学校に行っても何をやっているかわからないといったようなかわいそうな子どもが出ないよう、どのような子どもでも楽しい、何かしら収穫がある、そのような学校、授業が一番大事だ。人格と学力を同時に考えたものでなければならない。学力を上げるのは素晴らしい社会をつくるために大事であって、試験の点数の問題だけでは困る。</p>
<p>比嘉委員</p>	<p>先生方が意欲的に子どもたちに向かえ、打ち込める環境というか、仕組みが学校の中で、政策の中で必要かと思う。当然にPTAの協力も必要だろうし、先生方が雑多な業務に追われて子どもに向きあえないとしたら、それを除く必要があるだろう。先生方のモチベーションを高めたり、喜びをより多く見いだしていけるような応援の仕組みがつくれたらいいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>第一義的には、先生方の力によるところが大きいので、わかる授業を構築してもらおう指導集も出しております。教員の多忙化については、中学校単位で地域の人材をいかして学校を支援するシステムをつくっております。また、勤務実態調査も行っており、年内には結果も出てきます。そういうことで、先生方を応援できる部分をしっかりやっていきたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>昨年度と比較して、基礎的・基本的な問題である小学校国語A及び算数Aの平均正答率の全国との差が大きくなっている。問題解決能力は、基礎的・基本的事項が身に付いてないと感じない。かけ算九九のような基礎的なものは、訓練によってでもしっかりと身につけないといけない。学校での授業改善工夫がまずは大事になる。自分で物事を解決する能力を</p>

	<p>育てたいということがクローズアップされるあまり、基礎的・基本的事項を身につけさせる時間が少なくなっているのではと思うので、そこに力を入れてほしい。学力は、将来ずっと使っていくわけだから、まずは全国最下位脱出を目標にして全県的雰囲気盛り上げていかなければいけない。</p>
教育長	<p>教育庁としては、平成23年度までに、全国平均まで持っていこうという目標を掲げております。</p>
鎌田委員	<p>全国平均を目指すなら、学校現場の対応策と、もう一つは家庭教育の対応という二本柱でプロジェクトチームは進めていただきたい。</p>
委員長	<p>他にございませんか。よろしいですか。  それでは、議事に入ります。議題は議案が7件となっております。なお、議案第5号及び第6号が文化財保持者認定案件、議案第7号が人事案件となっておりますので、非公開としてよいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>それでは、この通り決定します。  議案第1号の説明をお願いします。</p>
財務課長	<p>(議案について説明)</p>
鎌田委員	<p>幼稚園に関する予算は、目的別内訳でどこに入り、どの部署の担当になるのか。</p>
財務課長	<p>教育総務費で、義務教育課が担当となります。</p>
比嘉委員	<p>沖縄グローバルエデュケーションネットワークシステム事業についてだが、このシステムを語学教育やキャリア教育の一環として使うのだろうと推測できるが、どのように活用するのか。観光部局と連携した上での活用を図っていくことが、意義ある事業になると思うが、どうか。また、そのようになることを希望する。</p>
財務課長	<p>当該システムは、3カ国語で沖縄の観光資源、伝統文化等に関する小学生用教材を作成し、ゆくゆくは観光産業の人材育成を目指していくものです。コンテンツはこれから作成していきますので、観光部局とも調整して進めていきます。</p>
教育長	<p>特別調整費予算ですので、観光振興という視点が重要になります。そのような視点から国際的な人材を育てようと、また平成23年度からは小学校に英語教育が導入されますので、小学校の教員に英語学習をしてもらうことも兼ねており</p>

	ます。
委員長	他にございませんか。 それでは、この通り決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	この通り決定します。 次に議案第2号の説明をお願いします。
保体課長	(議案について説明)
委員長	先日の勉強会における資料から、料金が若干変更してるとのことだが、財政課との調整の上ということですが、 質疑はございませんか。 それでは、この通り決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	この通り決定します。 次に議案第3号の説明をお願いします。
施設課長	(議案について説明)
委員長	ご質疑ございませんでしょうか。 この通り決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	この通り決定します。 次に議案第4号の説明をお願いします。
財務課長	(議案について説明)
中山委員	直進優先の状況でも、こちら側の過失があるのか。
財務課長	はい。過去の判例等で概ねこの8対2という過失割合になっているとのことですが。
委員長	他にご質疑ございませんでしょうか。 この通り決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	この通り決定します。休憩します。  (以下は非公開部分なので、省略します)